

CISPR上海会議報告会 (11月29日) 開催のお知らせ

当会は、電波環境協議会(EMCC)と共催で、電波環境問題に関する知識を深めるため、去る平成16年9月に上海にて開催されたCISPR (国際無線障害特別委員会) 会議の報告会を、会議参加者の中から6名の方を講師としてお招きして、下記の要領にて開催することにいたしました。

会員の皆様には、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1 日時： 平成16年11月29日 (月) 午後1時30分から4時45分まで
- 2 会場： プラザホール (霞が関ビル1階) 東京都千代田区霞が関3-2-5
- 3 主催： 社団法人電波産業会 及び 電波環境協議会 (共催)
- 4 題名： 電波環境協議会 第28回講演会 「CISPR上海会議報告会」
- 5 プログラム： 講演内容及び講師については、電波環境協議会ホームページの「お知らせ」 < <http://www.arib.or.jp/emcc/> > を参照ください。
- 6 対象者： ARIB正会員及び賛助会員並びにEMCC構成員 130名予定 (参加費：無料)
- 7 申込先： ARIBホームページの「お知らせ・お問合せ」の「セミナー講演会等の申込受付」 < <http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html> > からお申込みください。
- 8 申込締切日： 平成16年11月22日 (月) (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 9 連絡先： 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル14F
社団法人電波産業会 内 電波環境協議会事務局
担当：高橋、堤
電話：03-5510-8596 E-mail：emcc@arib.or.jp

「DTV Workshop」

- DTTB in JAPAN- (11月17日) 開催のお知らせ
(2004年国際放送機器展(Inter BEE 2004)
における海外来場者向けセミナー)

社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)は、11月17日(水)~19日(金)に幕張メッセにおいて開催される2004年国際放送機器展(Inter BEE 2004)において、下記の要領にて海外来場者向けに英語のセミナーを主催し、当会のデジタル放送技術普及部会(DiBEG)はこれを後援します。会員の皆様には、関係する海外からの来場者にご参加を呼びかけてくださいますようお願い申し上げます。

- 1 日時： 平成16年11月17日(水) 午後1時から5時まで
- 2 会場： 日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 国際会議場201号室
- 3 主催： 社団法人 電子情報技術産業協会
(JEITA : Japan Electronics and Information Technology Industries Association)
- 4 後援： 社団法人 電波産業会 デジタル放送技術普及部会 (DiBEG in ARIB)
- 5 セミナー名称： 「DTV Workshop」 - DTTB in JAPAN-
- 6 セミナーの趣旨： JEITAとARIBデジタル放送技術普及部会(DiBEG)は協働して海外来場者向けセミナーを開催し、海外に我が国のデジタル放送技術・製品を紹介するとともに地上デジタル放送方式ISDB-Tの普及を図る。
- 7 テーマ： DTTB in JAPAN -Current & Future-
- 8 定員： 100名程度(事前登録不要、無料)

* 詳細は、DiBEGのホームページ< <http://www.dibeg.org/dtvwork.htm> > を参照ください。

また、Inter BEE 2004のホームページは < <http://bee.jesa.or.jp/> > (日本語) 及び < <http://bee.jesa.or.jp/en/> > (英語) です。

Call for attendance at DTV Workshop.

JEITA, in cooperation with DiBEG in ARIB, is conducting a workshop on DTTB on the 1st day afternoon of the **Inter BEE 2004** (International Broadcast Equipment Exhibition 2004) from November 17 to 19 at the Makuhari Messe in Japan.

Sponsor : JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association)

Support : DiBEG in ARIB (Digital Broadcasting Experts Group in Association of Radio Industries and Businesses)

Date : Wednesday, November 17, 2004, 13:00-17:00

**Location : Room #201, 2nd Floor, International Conference Hall,
Nippon Convention Center (Makuhari Messe)**

Theme : DTTB in Japan? Current & Future ?(in English)

Admission : Free (no pre-registration necessary)

Abstract :

The workshop traces the history and development of DTTB (Digital Terrestrial Television Broadcasting) in Japan.

It also backgrounds the implementation of DTTB.

The current status of transmitters and transmission network technologies, including equipment for relay stations, will be discussed. Also up for discussion are receiving technologies and receivers now on the market, together with peripheral devices such as HDD-DVD.

In addition, there will be a panel discussion about R&D focusing on mobile and handheld services and the associated receiving devices that are expected to make ubiquitous broadcasting a reality in the near future.

ARIBの動き

タイ国にてデジタル放送セミナーが開催され、DiBEGが講師を派遣

日本のデジタル放送の現状と、地上デジタル放送実現までの政策、技術標準化、技術開発、等について、タイ国の関係者に説明し、タイ国の将来のデジタル放送に寄与することを目的として、10月14日～15日にタイ国バンコク市にてデジタル放送セミナーが開催されました。

本セミナーは、タイ国総理府広報局 (The Government Public Relations Department) の主催、JICAの後援により、タイ国内の放送に関係する政府関係者、政策担当者、放送事業者、放送機器業者、学識経験者等、約100名を招待して行われたものです。

当会のデジタル放送技術国際普及部会(DiBEG)は、4名の講師を派遣し、総務省から派遣された宮澤茂樹氏と共に、以下の題目で講演を行いました。4名の方々は、高田政幸氏 (NHK技研)、前嶋宏氏 (日本電気(株))、高橋泰雄氏 ((株)東芝)、丸山芳樹氏 ((株)テレビ朝日) です。

[10月14日]

- Digital broadcasting policy of Japan
- Current states of digital broadcasting of Japan

- Future trend for digital broadcasting services
- Research and development for digital broadcasting in NHK STRL/Japan

[10月15日]

- Digital broadcasting facilities and system for DTTB
Part 1 ; Studio system for on air
Part 2 ; Transmission system and hardware

セミナー参加者からは、主に (1)日本方式(ISDB-T)と欧州方式(DVB-T)の違い、(2)地上デジタル放送に関する将来のビジネスモデル、(3)地上デジタル受信機の価格動向、(4)HDTVの番組制作フォーマット等に関心が寄せられました。

日本における地上デジタル放送の開始により、タイ国内では日本の現状及び実現プロセス等について強い関心を持っており、今後の導入が期待されます。



セミナー会場（バンコクのラディソンホテル）の様子

第100回業務委員会が開催される

第100回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成16年10月13日（水） 午後4時から6時まで

2 場所 当会第3会議室

3 議事概要

- (1) 事務局から、特定周波数終了対策業務について報告があった。
- (2) 事務局から、電波有効利用政策研究会最終報告書について説明があった。
- (3) 事務局から、平成17年度の税制改正要望内容について報告があった。
- (4) 事務局から、平成7年から16年にわたる「ARIB 10年の歩み」について

説明があった。

(5) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務について①一般受信者向けの受信対策の状況及び②送信設備に係る給付業務の状況の報告があった。

(6) その他

ア 事務局から、最近の当会の活動状況について説明があった。

イ 次回の業務委員会は、平成16年11月10日(水)午後2時から開催することとなった。

欧州電気通信／
放送の動き

TPS、ハイビジョンへの意欲を語る

【Le FIG-ECO,2004/09/30】

日刊紙のフィガロは9月30日付で、衛星放送プラットホーム事業者TPSのフロラン会長のインタビューを掲載した。フロラン会長は、MPEG4を利用したハイビジョン放送の開始時期について、2005年秋が現実的な線とした上で、当初はTPSスターをはじめとする自前局で開始するが、それに留まらずに、フランス・テレコムによるADSLテレビ（2005年上半期以降を目途）や地上デジタルでも、ハイビジョン放送を開始したいとした。視聴覚最高評議会（CSA）が地上デジタル放送でのMPEG4の許可に消極的であることに関しては、請願の結果、許可が出されることを期待しており、それを見越して準備を進めると説明した。会長は、MPEG4対応のセットトップボックスの価格は量産に入ればごく低くなるはずであり、いずれにしても加入者向けのレンタル料は月額8ユーロのまま変えるつもりはないと述べた。ハイビジョン用コンテンツの調達については、コストの大幅増とは言えないとして、ハイビジョン移行に巨額の費用がかかるというのは正しくないと説明した。

編集後記

大概のURLは<http://...>ですが、[http](http://...)にsのついた<https://...>もあるので、ご注意ください。

詳細はIT用語を説明したWEBサイトなどに譲りますが、HTTPSは、Hypertext Transfer Protocol Securityの略で、HTTPにSSLによるデータの暗号化機能を付加したプロトコルで、個人情報などを安全にやり取りするために使われます。

身近なところでは、< <https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general-index.cgi> > が、ARIBセミナー申込みのURLですが、[https](https://...)となっています。[http](http://...)とうっかり入力された方からお問い合わせを受けたことがあり、現在では自動的に正しいURLに移るように対策しています。

(編集子：G)

[ページの先頭に戻る](#) ▲